

価値共創のあゆみ

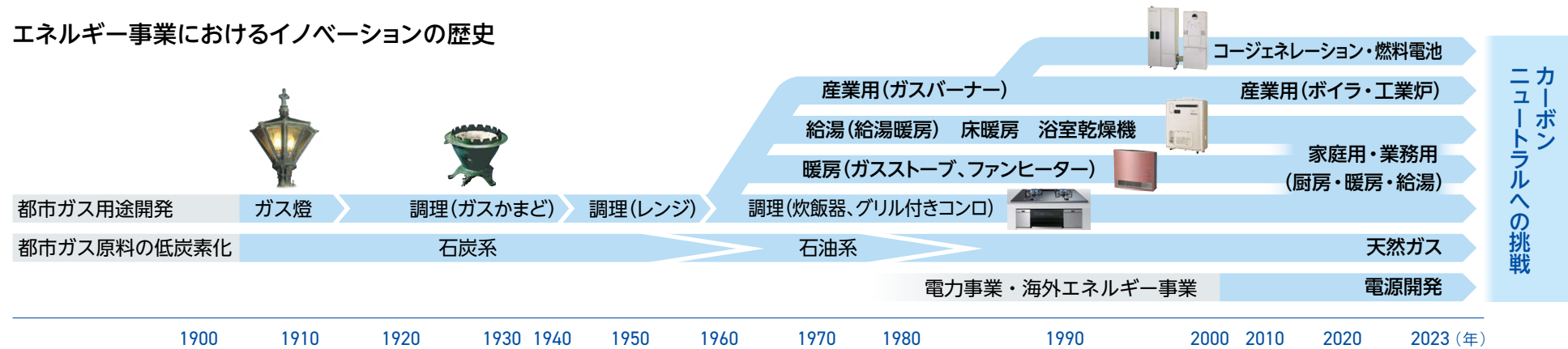
Daigasグループは1905(明治38)年にガスの供給を開始しました。それから110余年、ガス燈を灯すことから始まったガス事業は、社会や環境変化のなかで幾多の困難にぶつかりながらも、調理、暖房、給湯、発電まで用途を広げてきました。また、エネルギー事業で培ったお客さまや地域とのつながりを源泉に、事業領域を拡大し、多様な商品・サービス・ソリューションを提供する企業グループに発展してきました。

グループ事業における成長の歴史





エネルギー事業におけるイノベーションの歴史



社会的背景とグループの取り組み

社会課題・ニーズ

地域の
安全性
向上

石油ランプからガス燈へ
当時、しばしば火事の原因
となった石油ランプや高価
な電灯が普及しており、都
市部での社会課題でした。

ガス供給
開始

ガス燈の普及に努める
会社設立理由に市民への
安全で低廉なガスの供給
を掲げ、ガス燈の普及に努
めました。

ライフ
スタイル
の変化

ガスによって変わる生活
様々な生活様式や人々の
慣習も変化しつつあり、女
性の社会進出も始まりまし
た。

新しい
暮らし
の提案

ご家庭の厨房へのガス普
及は従来の電調理におけ
る家事の負担を大幅に軽
減させました。

エネルギー
需要の
増加

人口増加・戦後復興
エネルギー需要の増加や急
激な都市化への対応が必要
となりました。

LNGの
導入

天然ガス転換は膨大な先行
投資を伴う長期プロジェクト
でしたが、供給安定性向上
や環境負荷軽減等が図られ
ました。

持続可能な
社会の
実現

環境への関心の高まり
SDGs採択、パリ協定発効、
TCFD提言発表等、全世界
が取り組むべき喫緊の課題
として挙げられています。

先進的な
商品の
開発

省エネルギー・CO₂削減に
貢献する先進的な機器・シ
ステム開発を行い、お客さ
まとともに低・脱炭素化に
努めます。

Daigasグループの価値共創